

令和 4 年 6 月 1 日現在

機関番号：12603

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2018～2020

課題番号：18H03439

研究課題名（和文）アフリカ農村部における資源管理と政治権力

研究課題名（英文）Resource Management and Political Power in Rural Africa

研究代表者

武内 進一（Takeuchi, Shinichi）

東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・教授

研究者番号：60450459

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 13,000,000円

研究成果の概要（和文）：アフリカにおける望ましい農村資源管理のあり方を考えるために、その政策と国家や伝統的権威などの政治権力との関係を検討した。農村部で最も重要な資源の一つである土地に研究対象を絞り、アフリカ数カ国を取り上げて、土地改革の政策的実践とその帰結を比較した。結果として、現状変更的な土地改革が強権的な一党優位体制の下で進められる一方、民主的な体制下では土地改革が進まない傾向が観察された。この理由は、土地に権限を持つ伝統的権威が民主的な体制下では強い政治力を有しており、改革に抵抗するところに求められる。政治体制と政策執行能力の関係に見られるジレンマをどう考え、どう対応するのかが課題となる。

研究成果の学術的意義や社会的意義

土地制度改革はアフリカの経済発展に不可欠と考えられ、近年多くの国々がこれに取り組んでいる。本研究では、現地フィールドワークを通じて、土地改革の現状、その政治権力やガバナンスとの関係、そしてその政策的課題を明らかにした。土地改革が単に技術的問題ではなく政治権力と密接に関連していること、そこにアフリカの国家をめぐるジレンマがあること、それを踏まえた政策対応が必要なことが、本研究から示された。

研究成果の概要（英文）：Searching for sustainable resource management in rural Africa, this research project has examined the role of political power such as the state and traditional authorities in the process. Focusing on the management of land, comparative studies among African countries were carried out regarding practices of land reform as well as their consequences. One of the main observations is that effective land reforms have been put into practice under authoritative political regimes led by a dominant political party, while the reforms have been blocked under democratic political regimes due to the resistance of traditional authorities. Because of their strong capabilities for mobilizing people for voting, traditional leaders are likely to have significant influence over politicians in a democratic regime, thus easily blocking the reform. This dilemma over the political regime and the capacity of policy implementation needs to be seriously considered in future research.

研究分野：地域研究

キーワード：ガバナンス 伝統的権威 アフリカ 政治体制 土地 政策 国家 政党

1. 研究開始当初の背景

アフリカにおいて、農村社会の急速な変容が進んでいた。具体的には、人口が急速に増加し、土地や水などの資源をめぐる競争が激化する傾向が多く地域で見られた。こうした変化を背景として、また例えばイスラーム急進主義勢力の流入といった外部要因にも刺激されて、農村部における社会秩序の流動化が進み、多くの紛争が報告されるようになった。こうした変化は、現在もなお続いている。農村部の社会秩序構築にとって、資源管理は中心的な課題である。この分野については、人類学を中心に厚みのある蓄積がある。しかし、それを国家や伝統的権威といった政治権力との関係で分析し、政策に活かそうとする試みはほとんどなかった。本研究プロジェクトは、アフリカを対象として、上記の視点から農村資源管理を再考するという着想に基づいて開始された。

2. 研究の目的

本研究の目的は、アフリカの持続可能な開発に資する資源管理政策を、開発の政治的側面に注目して探求することである。資源管理政策を論じるにあたり、従来の研究では十分考慮されてこなかった政治権力と「資源化」に関わる問題に注目する。資源管理には国家、伝統的権威、ドナー、多国籍企業など、様々な権力主体が関与するが、本研究ではその関係を資源化過程と政策分析という通時、共時の2つの軸で分析する。研究対象として、土地を中心としつつも農産物、野生動物や文化も含め、それらが資源化の過程で政治権力とどのような関係を切り結んできたのか、またそれら資源の管理政策にいかなる政治権力構造が反映されているのかを解明する。資源化の歴史分析と資源管理の政策分析を組み合わせると当該資源の管理をめぐる政治権力構造と課題を明らかにし、実効的な政策提言を目指す。

3. 研究の方法

本研究プロジェクトは地域研究者をメンバーとし、いくつかのアフリカ国家を事例として、国家と地方(農村部)の関係、その変容を分析することに主眼を置いた。農村資源管理を政治権力との関係で分析するためには、国家との関係を視野に入れる必要がある。それには、当該国の文脈をよく知った上で、フィールドワークを通じて特定農村部に深い知見を持つ地域研究者が必要で、そうした研究者にプロジェクトメンバーとして参加してもらった。また、アフリカ現地の研究者との交流、協力を重視し、2018年にはプレトリア大学、2020年にはプロテスタント人文社会科学大学(ルワンダ)において、南アフリカ、カメルーン、モザンビーク、コンゴ民主共和国、ガーナ、エチオピア、ルワンダなどから研究者を招き、共同セミナーを開催した。そこでは、農村資源管理と政治権力をめぐる状況について、各国ごとの違いや共通点が明らかになった。共同セミナーでの議論を通じて研究成果を構想したが、農村資源の中でも土地をめぐる問題が重要であり、かつそれを対象とした研究者が多いことから、この問題に焦点を絞ることに決めた。また、コロナ禍のために研究資金を1年繰り越し、この時間を利用して最終成果をまとめた。

4. 研究成果

研究成果として、英文出版物 *African Land Reform Under Economic Liberalisation: States, Chiefs, and Rural Communities.* (Takeuchi ed., Springer, 2021) をオープンアクセスで刊行した。ここでは、ガーナ、ザンビア、南アフリカ、ナミビア、ジンバブウェ、モザンビーク、ルワンダ、エチオピア、ケニアを事例として、近年の土地制度改革とその結果を比較検討した。土地政策のパフォーマンスは国によって大きく異なるが、そこに影響を与える政治権力として2つのアクターが特に重要である。一つは伝統的権威、もう一つは政党である。

伝統的権威(チーフ)の影響は予想されたものだが、その影響力は予想以上に国によって異なることがわかった。ガーナのように、チーフが豊かで政治的有力者と結びつき、国家と切り離せないケースがある一方で、南アフリカのように、近年の政治過程の中で、チーフが自身の政治力強化を狙って国家への働きかけを強めているケースもある。南アにおいて、国家レベルの政治権力に対するチーフの影響力は限定的だが、ガーナではより中核に入り込んでいる。チーフの政治的影響力が強ければ、抜本的な土地改革を進めることは困難である。土地改革では政府が土地所有権を一元的に管理しようとするが、既に土地に対する権利を有しているチーフはそうした改革を歓迎しないからである。

チーフの影響力はいかなる場合に弱まるだろうか。研究対象国の中で、ルワンダにはチーフが存在しない。これは、独立前後の政治騒乱によって、チーフ層が追放された歴史があるからである。ルワンダはアフリカで最もラジカルな土地制度改革を実施し、2010年代半ばには全土で土地権利証書を配布した。こうした政策の推進力となってきたのは、この国で強固な支配体制を構築した政権与党(ルワンダ愛国戦線: RPF) である。RPFは1990年代の内戦に勝利した元ゲリラ組織で、内戦後のルワンダで政治権力を独占してきた。強権的な支配体制に基づいて、ラジカルな土地制度改革を実施したわけである。ジンバブウェやモザンビークにおいても、軍を基盤とする支配政党(ZANU-PF、Frelimo)が農村部に支配体制を確立している。ここでは、チーフの権力

は政党に比べて弱体化している。

ガーナ、南アフリカ、ザンビアといった競争的な民主主義が維持されている国々でチーフの政治的影響力が強く、ルワンダ、モザンビーク、ジンバブウェなど強権的な一党優位体制の下でチーフの政治的影響力が抑制されているのは偶然ではない。チーフはローカルな民衆の間に政治的正当性を確保していることが多く、その意味で投票時の動員能力が強い。したがって、民主主義体制において、チーフに対して政党は抑圧的な態度を取りにくい。結果として、チーフは民主主義体制下でより強い政治力を持ちうるのである。

チーフの影響力が強ければ、国家はより分権的になり、現状を変更するための政策が打ちにくくなる。その一方で、特定集団への抑圧的な政策もまた取りにくいという意味で、マクロ的には民主主義的な政治体制が維持されやすい。一方で、軍と結びついた支配力が強い政党が政治権力を握れば、その統治能力を用いてチーフを抑圧し、土地改革のような現状変更型の政策を打つことが可能になる。このように、比較研究の結果は、国家の政策貫徹能力が政治権力の分布に大きく依存していることを示している。

ここには、なお答えられていない問題が少なくとも2つある。一つは、マクロな政治体制と政策執行能力のジレンマをどう考えるか、という点である。本研究の結論が、軍を基盤にした一党優位体制で現状変更型政策の執行能力が高いというもののだとしたら、それは強権体制を擁護するものなのだろうか。土地改革は民主主義体制下では遂行し得ないものなのだろうか。土地問題のように多くの人々の生活を左右する問題について、どのように人々のコンセンサスを得て進めるのかは、なお答えられていない。

二つ目は、貫徹された政策は望ましいものなのか、という点である。チーフの影響力を排除するという点で、強権的な一党優位体制下で現状変更型政策を遂行しやすいという結論は論理的妥当性を持つ。しかし、こうして貫徹された政策が住民の生活を改善するために望ましい政策なのかは、より慎重な検討が必要である。これにはより長期での調査研究が必要になるだろう。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計32件（うち査読付論文 12件 / うち国際共著 3件 / うちオープンアクセス 14件）

1. 著者名 武内進一	4. 巻 200
2. 論文標題 アフリカ研究者の紛争研究 日本の国際政治学と紛争研究	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 国際政治	6. 最初と最後の頁 23, 36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 武内進一	4. 巻 8
2. 論文標題 コンゴ民主共和国の歴史と紛争 難民発生要因の見取り図	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 難民ジャーナル	6. 最初と最後の頁 16, 33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 武内進一	4. 巻 65(4)
2. 論文標題 近年のアフリカ政治経済	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 地理	6. 最初と最後の頁 64, 70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 武内進一	4. 巻 56
2. 論文標題 「ルワンダの奇跡」後の課題	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 外交	6. 最初と最後の頁 50, 55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kirikoshi, H.	4. 巻 58
2. 論文標題 Tree Shape Classification and Land Management by Hausa Farmers in Sahel Region of Southern Niger.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 African Study Monographs, Supplementary issue	6. 最初と最後の頁 55, 67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/244119	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Oishi, T., Fongzossie, F.E.	4. 巻 -
2. 論文標題 A preliminary report on the diversity of forest landscape recognition among the Baka hunter-gatherers of Eastern Cameroon.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Matsunami, Y., Takeuchi, S. (eds.), ASC-TUFS Working Papers 2019: Challenges of Development and Natural Resource Governance in Africa. ASC-TUFS.	6. 最初と最後の頁 247, 257
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Funwi, F.P., Sonwa, D.J., Mala, W.A., Oishi, T., Ngansop, T.M., Mbolo. M.	4. 巻 -
2. 論文標題 Exploring farmers vulnerabilities and agro-biodiversity in perspective of adaptation in Southern Cameroon.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Matsunami, Y., Takeuchi, S. (eds.), ASC-TUFS Working Papers 2019: : Challenges of Development and Natural Resource Governance in Africa. ASC-TUFS.	6. 最初と最後の頁 259, 278
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Mvetumbo, M., Oishi, T., Kum Awah, P., Ngansop, T.M., Touyou Akept, L.	4. 巻 -
2. 論文標題 The persistence of "spleen sickness" culture in Cameroon: A comparison between a remote village in the East region and an urban area of the Central region.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Matsunami, Y., Takeuchi, S. (eds.), ASC-TUFS Working Papers 2019: Challenges of Development and Natural Resource Governance in Africa. ASC-TUFS.	6. 最初と最後の頁 279, 302
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 大石高典	4. 巻 22
2. 論文標題 (書評へのリプライ) 犬からみた「人類史」と「個体史」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 クアドランテ[四分儀] 地域・文化・位置のための総合雑誌	6. 最初と最後の頁 133, 136
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大石高典	4. 巻 22
2. 論文標題 はじめに：『犬からみた人類史』書評特集	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 クアドランテ[四分儀] 地域・文化・位置のための総合雑誌	6. 最初と最後の頁 107, 109
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大石高典	4. 巻 13
2. 論文標題 強害雑草がつくる景観の民族誌：中部アフリカにおけるヒマワリヒヨドリの事例	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 熱帯農業研究	6. 最初と最後の頁 107, 108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 網中昭世	4. 巻 11
2. 論文標題 モザンビークの社会福祉	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 牧野・岩崎編『新世界の社会福祉 第11巻 アフリカ/中東』	6. 最初と最後の頁 197, 244
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤千鶴子	4. 巻 682
2. 論文標題 南アフリカの現在：土地問題と憲法第25条改正論議を中心に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国際問題	6. 最初と最後の頁 29, 40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤千鶴子	4. 巻 9
2. 論文標題 南アフリカ共和国における難民受入れの現状と課題：コンゴ民主共和国出身者の実態を中心として	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 難民研究ジャーナル	6. 最初と最後の頁 50, 68
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤千鶴子	4. 巻 -
2. 論文標題 南アフリカにおけるコンゴ人女性による庇護申請と生活経験	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 児玉由佳編『アフリカ女性の国際移動』アジア経済研究所、2020年	6. 最初と最後の頁 173, 221
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20561/00051671	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chizuko Sato	4. 巻 -
2. 論文標題 Opportunities and Constraints for Black Farming in a Former South African Homeland: A Case Study of the Mooi River Irrigation Scheme, Msinga, KwaZulu-Natal, South Africa	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Horman Chitonge and Yoichi Mine, eds., Land, the State and the Unfinished Decolonisation Project in Africa: Essays in Honours of Professor Sam Moyo, Langaa Research & Publishing CIG (Cameroon)	6. 最初と最後の頁 213, 251
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 武内進一	4. 巻 117
2. 論文標題 内戦後の土地問題とピネイロ諸原則 ルワンダ・ブルンジの比較から	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国際法外交雑誌	6. 最初と最後の頁 181, 199
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shinichi Takeuchi	4. 巻 2018
2. 論文標題 "Land and power in Africa: The effects of recent land reform".	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ASC, TUFS Working Papers 2018 "Development, Migration, and Resources in Africa"	6. 最初と最後の頁 63, 79
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Chizuko Sato	4. 巻 57
2. 論文標題 Opportunities and Constraints for Black Farming in a Former South African Homeland: A Case Study of the Mooi River Irrigation Scheme, Msinga, KwaZulu-Natal, South Africa	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 African Studies Monographs, Supplementary Issue	6. 最初と最後の頁 147, 174
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/233012	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Chizuko Sato	4. 巻 2018
2. 論文標題 "Land Tenure Reform in South Africa: Traditional Leadership, CLaRA, and 'Living' Customary Law"	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ASC-TUFS Working Papers 2018 "Development, Migration and Resources in Africa."	6. 最初と最後の頁 103, 121
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大石高典	4. 巻 84
2. 論文標題 野生鳥獣肉の持続的な消費：日本の課題をグローバルにとらえ返す	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 農業と経済	6. 最初と最後の頁 46, 55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akiyo Aminaka	4. 巻 2018
2. 論文標題 "Implementation of Land Law and Political Dynamics in Mozambique."	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ASC-TUFS Working Papers 2018 "Decelopment, Migration and Resources in Africa."	6. 最初と最後の頁 123, 142
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hitomi Kirikoshi	4. 巻 2018
2. 論文標題 Migrants' Participation in Cocoa Production: Trust Building among Multi-ethnic group in West Africa	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ASC-TUFS Working Papers 2018 "Decelopment, Migration and Resources in Africa."	6. 最初と最後の頁 45, 59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 松波康男	4. 巻 57
2. 論文標題 「南スーダンにおける紛争解決合意 (ARCSS)」署名を巡る IGAD加盟国の関与	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 アフリカレポート	6. 最初と最後の頁 1, 12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 松波康男	4. 巻 65(6)
2. 論文標題 「エチオピア 非常事態宣言の発出と農村社会」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 地理	6. 最初と最後の頁 96, 102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤千鶴子	4. 巻 59
2. 論文標題 「コロナ禍の南アフリカにおけるロックダウンの生活への影響 - アフリカ諸国出身者に注目して」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 アフリカレポート	6. 最初と最後の頁 42, 48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24765/africareport.59.0_42	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鈴木玲治・大石高典	4. 巻 86(6)
2. 論文標題 「焼畑復活と地域社会 地域資源に着目した地域振興の可能性」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 農業と経済	6. 最初と最後の頁 41, 51
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大石高典	4. 巻 -
2. 論文標題 「センザンコウの肉と鱗」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 秋道智彌・岩崎望編『絶滅危惧種を喰らう』勉誠出版	6. 最初と最後の頁 59, 64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大石高典	4. 巻 86(1)
2. 論文標題 「媒介者としてのハチ 人=ハチ関係からポリネーションの人類学へ」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 文化人類学	6. 最初と最後の頁 76, 95
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Oishi, Takanori	4. 巻 2
2. 論文標題 People and Dogs in Rainforests: Multispecies Relationships Under the Rising Pressure of Conservation Policy in Southeastern Cameroon	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 ASC-TUFS Working Papers	6. 最初と最後の頁 205, 225
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.51062/ascwp.2.0_205	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sakai, Makiko	4. 巻 2
2. 論文標題 Over-indebtedness of Microfinance in Rural Africa: A Sociological Perspective of Tanzania	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 ASC-TUFS Working Papers	6. 最初と最後の頁 145, 163
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.51062/ascwp.2.0_145	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shinichi Takeuchi	4. 巻 2
2. 論文標題 Japan's Peace Policy in Africa: Discussion towards TICAD VIII	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 ASC-TUFS Working Papers	6. 最初と最後の頁 23,41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.51062/ascwp.2.0_23	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計28件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 8件）

1. 発表者名 Shinichi Takeuchi & Jean Marara
2. 発表標題 Land Law Reform and State-building in Rwanda
3. 学会等名 PIASS-TUFS Joint Seminar on Resource Management and Development
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Shinichi Takeuchi
2. 発表標題 Rwanda's land law reform: Its implications for the landscape change
3. 学会等名 Global Landscape Forum (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shinichi Takeuchi
2. 発表標題 Consequences of the land tenure reform: The case of Rwanda
3. 学会等名 Consequences of land tenure reform in Africa (94th KUASS, 12th KU-TUFS Seminar)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 桐越仁美
2. 発表標題 西アフリカ商人と域外商人の接続 現代ガーナにおける商人のキャリア形成を事例に
3. 学会等名 日本アフリカ学会第56回学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yasuo Matsunami
2. 発表標題 Healing ritual or cause of suffering: Spirit possession in rural Ethiopia
3. 学会等名 TUFS special seminar 'Contemporary spirit(ual) cults: revival or continuity?: An interdisciplinary workshop'
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 OISHI, Takanori
2. 発表標題 Impact of Cocoa mono-cultivation on micro-scale land use change in a rural community of Eastern Cameroon.
3. 学会等名 PIASS-TUFS Joint Seminar on Resource Management and Development
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大石高典
2. 発表標題 犬との関わりからみたアフリカ社会：カメルーン東南部の狩猟採集民と農耕民の比較から
3. 学会等名 日本アフリカ学会第56回学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 飯塚宜子、園田浩司、田中文菜、大石高典
2. 発表標題 人類学の知を子どもと共有するために 狩猟採集民バカ・ピグミーに学ぶワークショップを通して
3. 学会等名 日本環境教育学会・第30回年次大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Akiyo Aminaka
2. 発表標題 Developmentalism supersedes ideologies: Reproducing 'kibbutz' in Post-Conflict Angola
3. 学会等名 African Studies Association (USA) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤千鶴子
2. 発表標題 南アフリカに暮らすコンゴ出身難民女性の不安定な生計
3. 学会等名 日本アフリカ学会第56回学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Chizuko Sato
2. 発表標題 Precarious Livelihoods and Changing Gender Relationship among Congolese Female Migrants in South Africa
3. 学会等名 4th South Africa Japan University (SAJU) Forum.
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Chizuko Sato
2. 発表標題 Precarious Livelihoods and Changing Gender Relationship among Congolese Female Migrants in South Africa
3. 学会等名 Japan Society for Afrasian Studies (JSAS) Tokyo Conference
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤千鶴子
2. 発表標題 南アフリカにおけるコンゴ人女性による庇護申請と生活経験
3. 学会等名 人間の安全保障学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Chizuko Sato
2. 発表標題 Land Tenure Reform in Three Former Settler Colonies in Southern Africa: A Preliminary Investigation
3. 学会等名 Protestant Institute of Arts and Social Sciences (PIASS)-Tokyo University of Foreign Studies (TUFS) Joint Seminar, “Resource Management and Development ”
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 武内進一
2. 発表標題 1990年代以降の土地法改革はアフリカに何をもたらしたか
3. 学会等名 日本アフリカ学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shinichi Takeuchi
2. 発表標題 Land registration in Rwanda: The motivations and consequences
3. 学会等名 African Studies Association (USA) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤千鶴子
2. 発表標題 南アフリカへのコンゴ人の混在移動 複合的な移動目的と移動経路
3. 学会等名 日本アフリカ学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Chizuko Sato
2. 発表標題 Land Tenure Reform in South Africa: Traditional Leadership, CLaRA, and 'Living' Customary Law
3. 学会等名 Africa-Asia: a New Axis of Knowledge Conference (Second Edition) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takanori Oishi
2. 発表標題 How can local stakeholders make the room for negotiation?: Addressing the paradox of 'participation' and 'community' in forest management policies in southeastern Cameroon
3. 学会等名 IUFRO (International Union of Forest Research Organizations) social sciences conference on "African forest-related policies and politics" (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 T. Oishii, M. Mvetumbo, and E. Fedung
2. 発表標題 Caring dogs for hunting among the Baka hunter-gatherers of southeastern Cameroon.
3. 学会等名 International Conference on Hunting and Gathering Societies (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 桐越仁美
2. 発表標題 ガーナ北西部における農耕民ダガーレのマウンドと畝を用いた水食対策
3. 学会等名 日本アフリカ学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 桐越仁美
2. 発表標題 西アフリカの歴史的商業ネットワークと現代の流通システム
3. 学会等名 文部科学省ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)女性研究者シーズ発表会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 坂井真紀子
2. 発表標題 カメルーン西部州における野菜販売網とバイクタクシー - 中国製バイクの山間部アクセスへのインパクトを考察する
3. 学会等名 日本アフリカ学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yasuo Matsunami
2. 発表標題 Oromo Nationalism and the "Heritagisation" in Ethiopia
3. 学会等名 University of Pretoria - Tokyo University of Foreign Studies joint seminar (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takanori OISHI, Evariste Fedoung Fongzossie
2. 発表標題 Diversity of forest landscapes recognized by forest dwellers of Congo Basin: Intra- and inter- group variation among the Baka and the Bakwele of southeastern Cameroon
3. 学会等名 日本アフリカ学会第57回学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kirikoshi, Hitomi
2. 発表標題 Cleaning the City, Greening the Land: Sustainable City and Land Management in Sahel, West Africa.
3. 学会等名 International Conference on Geographical Science for Resilient Communities, Ecosystems and Livelihoods under Global Environmental Change (GORILLA (国際学会))
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 桐越仁美
2. 発表標題 西アフリカのムスリム商人による中国商人への商業ネットワーク拡大過程に関する考察
3. 学会等名 日本地理学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 網中昭世
2. 発表標題 「モザンビークにおける地方議会選挙－民主化の要件から野党懐柔の道具へ」
3. 学会等名 日本比較政治学会
4. 発表年 2020年

〔図書〕 計18件

1. 著者名 Yasuo Matsunami and Shinichi Takeuchi (Edited)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 African Studies Center, Tokyo University of Foreign Studies	5. 総ページ数 321
3. 書名 ASC TUFSS Working Papers 2019. Challenges of Development and Natural Resource Governance in Africa	

1. 著者名 大淵 憲一、大淵 憲一	4. 発行年 2019年
2. 出版社 サイエンス社	5. 総ページ数 323 (195, 220)
3. 書名 紛争と葛藤の心理学 (武内進一「紛争後のルワンダに見る和解の可能性と課題 ガチャチャを中心に」)	

1. 著者名 伊豫谷 登士翁、吉原 直樹、飯笹 佐代子	4. 発行年 2019年
2. 出版社 ハーベスト社	5. 総ページ数 268 (213, 234)
3. 書名 応答する「移動と場所」：21世紀の社会を読み解く(武内進一「アフリカ人移民の背景にあるもの 農村社会の変容と国家建設」)	

1. 著者名 松本尚之、佐川徹、石田慎一郎、大石高典、橋本栄莉	4. 発行年 2019年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 288
3. 書名 アフリカで学ぶ文化人類学	

1. 著者名 澤柿教伸、野中健一、椎野若菜	4. 発行年 2020年
2. 出版社 古今書院	5. 総ページ数 188 (152,161)
3. 書名 フィールドワークの安全対策 (FENICS 100万人のフィールドワーカーシリーズ9) 松波康男「政変とフィールドワーク」	

1. 著者名 大石高典、近藤祉秋、池田光穂	4. 発行年 2019年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 480
3. 書名 犬からみた人類史	

1. 著者名 ボニー・ヒューレット、服部志帆、大石高典、戸田美佳子	4. 発行年 2020年
2. 出版社 春風社	5. 総ページ数 420
3. 書名 アフリカの森の女たち	

1. 著者名 Shinichi Takeuchi	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 185 (121,134)
3. 書名 “Development and Developmentalism in Post-genocide Rwanda”. Edited by Yusuke Takagi, Veerayooth Kanchoochat, and Tetsushi Sonobe, Developmental State Building: The Politics of Emerging Economies.	

1. 著者名 H. Kirikoshi, Y. Matsunami, and S. Takeuchi	4. 発行年 2019年
2. 出版社 African Studies Center Tokyo University of Foreign Studies	5. 総ページ数 202
3. 書名 ASC, TUFS Working Papers 2018 "Development, Migration, and Resources in Africa"	

1. 著者名 Shinichi Takeuchi	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Institute of Japan Studies, Tokyo University of Foreign Studies	5. 総ページ数 113 (25, 43)
3. 書名 "Land and power in contemporary Africa: Understanding drastic rural changes in the age of land reform." In C. Gluck, S. Takeuchi, N. Hataya, T. Haraguchi, H. Sato and C. Nakayama, Re-examining Global Capitalism from the Perspective of Afro-Japanese Relations: Land, Space and Modernity.	

1. 著者名 Shinichi Takeuchi eds.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 XVIII+ 203
3. 書名 African Land Reform Under Economic Liberalisation - States, Chiefs, and Rural Communities	

1. 著者名 宇佐見耕一、小谷眞男、後藤玲子、原島博編	4. 発行年 2020年
2. 出版社 旬報社	5. 総ページ数 439 (251, 261)
3. 書名 『2020世界の社会福祉年鑑』佐藤千鶴子「南アフリカ：新型コロナウイルス感染症と政府の対応策」	

1. 著者名 佐藤章編	4. 発行年 2020年
2. 出版社 アジア経済研究所	5. 総ページ数 182 (141, 171)
3. 書名 『サハラ以南アフリカの国家と政治のなかのイスラーム - 歴史と現在 - 』佐藤千鶴子「南アフリカにおけるインド系ムスリム - 二重のマイノリティとしての位置づけと宗教的实践」	

1. 著者名 太田仁志編	4. 発行年 2020年
2. 出版社 アジア経済研究所	5. 総ページ数 181 (29, 68)
3. 書名 『新興国の「新しい労働運動」 南アフリカ、ブラジル、インド、中国』佐藤千鶴子「南アフリカにおける「新しい労働運動」の変遷 南アフリカ労働組合会議 (COSATU) に注目して」	

1. 著者名 Takehiko Ochiai, Misa Hirano-Nomoto and Daniel E. Agbibo, eds.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Langaa RPCIG	5. 総ページ数 277(169, 188)
3. 書名 People, Predicaments and Potentials in Africa. Chizuko Sato, " 'One Day, We Gonna Talk about It like a Story': Hardships and Resilience of Migrant Women in South Africa from the Great Lakes Region "	

1. 著者名 Motoki Takahashi, Shuichi Oyama, and Herinjatovo Aime Ramiarison	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Langaa RPCIG	5. 総ページ数 409 (317, 341)
3. 書名 Development and Subsistence in Globalising Africa: Beyond the Dichotomy. Hitomi Kirikoshi, "African Traders and Their Interactions with 'Aliens': Focusing on the Careers of Traders in Today's Ghana"	

1. 著者名 Mitsugi Endo, Ato Kwamena Onoma & Michael Neocosmos	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Langaa RPCIG	5. 総ページ数 290 (121, 146)
3. 書名 African Politics of Survival Extraversion and Informality in the Contemporary World. Shinichi Takeuchi 2021. "When African Potentials fail to work: The background to recent land conflicts in Africa"	

1. 著者名 武内進一・中山智香子編	4. 発行年 2022年
2. 出版社 東京外国語大学出版会	5. 総ページ数 384
3. 書名 『ブラック・ライヴズ・マターから学ぶ アメリカからグローバル世界へ』	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>ルワンダで国際セミナーを開催しました http://www.tufs.ac.jp/asc/activities/2002PIASS-TUFSSeminarReport.html アフリカ農村部における資源管理と政治権力 http://www.tufs.ac.jp/asc/activities/project/post-470.html Kojo Sebastian Amanor http://www.tufs.ac.jp/asc/english/about/staff/KojoSebastianAmanor.html International Seminar in Rwanda http://www.tufs.ac.jp/asc/english/activities//2002PIASS-TUFSSeminarReport.html 【Book Publication】ASC-TUFS Working Papers 2018 http://www.tufs.ac.jp/asc/english/activities/publications/190308ASCTUFSWorkingPapers2018.html 【書籍】『ASC-TUFS Working Papers 2018』 http://www.tufs.ac.jp/asc/activities/publications/190308ASCTUFSWorkingPapers2018.html 【Book Publication】ASC-TUFS Working Papers 2018 http://www.tufs.ac.jp/asc/english/activities/publications/190308ASCTUFSWorkingPapers2018.html</p>
--

6. 研究組織			
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	網中 昭世 (Akiyo Aminaka) (20512677)	独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所・地域研究センターアフリカ研究グループ・研究員 (82512)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	大石 高典 (Takanori Oishi) (30528724)	東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・准教授 (12603)	
研究分担者	佐藤 千鶴子 (Chizuko Sato) (40425012)	独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所・地域研究センターアフリカ研究グループ・研究員 (82512)	
研究分担者	坂井 真紀子 (Makiko Sakai) (70624112)	東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・准教授 (12603)	
研究分担者	桐越 仁美 (Hitomi Kirikoshi) (70793157)	国土館大学・文学部・講師 (32616)	
研究分担者	松波 康男 (Yasuo Matsunami) (90811125)	明治学院大学・社会学部・准教授 (32683)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計5件

国際研究集会 “Land Tenure Reform in Africa and its Implication to Landscape Restoration on the Continent” at Global Landscape Forum	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 Consequences of land tenure reform in Africa (94th KUASS, 12th KU-TUFS Seminar)	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 PIASS-TUFS Joint Seminar on Resource Management and Development. Huye, Rwanda.	開催年 2020年～2020年
国際研究集会 University of Pretoria - Tokyo University of Foreign Studies joint seminar	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 ASC-TUFS 5th Anniversary International Symposium	開催年 2021年～2021年

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
ガーナ	University of Ghana			
カメルーン	CIFOR	University of Yaounde I		
モザンビーク	Eduardo Mondlane University	IESE		
ルワンダ	PIASS			
南アフリカ	University of Cape Town	University of Pretoria		
エチオピア	University of Addis Ababa			